

2016年を振り返って

(理事長 矢部 博祥)

この一年は、まさに発足以来の新しい多くのチャレンジをした時であったと思います。これを列記すると次のようになります。いずれの事業も実施に移すとかなり具体的な資料検証と準備が必要で事務局としては苦闘しましたが、どうか目指した一定のところまでこぎつけたかなと思っています。

そして、ある意味で今後につなぐベースをかなり整備した年であったと思いますが、これを会の発展にどう生かしていくかは、今後の課題と言えます。

- ①NPO法改正基準に基づく会計様式の導入
- ②増収効果を期待するための寄付依頼の取組み
- ③会員の向上を図るための環境学習指導者研修会
- ④会員相互の親睦を図るとともに先進的取組みを学ぶ他の団体との交流・研修視察
- ⑤容量に限界が来ているホームページのリニューアル
- ⑥小学校等への環境教育を行う会員のネタ本としての環境教育の手引の作成

この他に各種機関等からの講演依頼が4回もあったのも今年の特徴といえるでしょう。ちなみにこの1年で平成28年2月には国土交通省が中心となっている千代川流域圏会議、同4月には鳥取市河原町八日市環境保全グループ、同9月には鳥取県農林水産部水産課、同9月には鳥取県倉吉産業人材育成センターの各機関等から各方面の関係者を集めた場を提供していただき、合計4回の講演依頼を受け、実施しました。要請された講演テーマのポイントは私たちの環境保全活動全般であったり、調査した魚の生息状況であったり、八東川におけるクリーンアップ大作戦といろいろでした。

更に昨年、ドコモの助成金申請が採択され、その対象期間は今年にも及び資金的には恵まれた年であったのも特徴といえると思います。

これらは、いずれも私たちの活動が広域的に高く評価されてきている証と考えます。

しかしながら、一方では、会員の高齢化は否めず、新会員の入会がままならないのが一番の問題点です。まさに会の存続にかかわる問題であり、会員あげての一層の取組みが望まれるところです。

さて、今年の主な事業実績をあげてみました。

- 3月 寄付依頼の取組み開始
- 3月 新会計基準の導入(H27年度会計報告から)
- 4/16 八東川クリーンアップ大作戦 参加者311人、回収ゴミ量 860kg
- 5/18 源流探検ウオーキング 八東小支援 計18名参加
- 5/31 第9回総会 会場 姫宮
- 6/6他 小学校への出前授業 減流探検を含み計8回、児童数123人
- 6/20他 八東川河川敷の草刈 延べ40人・回
- 7/23 八東川水生生物調査 3か所で実施 スタッフ18人
- 7/28 千代川一斉水質調査 国土交通省に協力 2か所調査
- 7/31 川遊びフェスタin八東川 勘右衛門土手公園付近 参加者約200人
- 7月 ホームページリニューアル
- 8/27 千代川フェスティバルに協力
- 9月 「環境教育の手引」作成
- 10/26 環境教育指導者研修会開催 講師 池田満之氏 参加者23人



八東川クリーンアップ大作戦



小学校への出前授業



八東川水生生物調査



川遊びフェスタin八東川



環境教育指導者研修会



他団体との交流・研修視察

今後の活動計画

1月15日(日) 13:30～ 例会 八東公民館

会報一覧へ戻る

【例会(第135回)の開催について】

- ・ 日時：1月15日(日) 13:30～
- ・ 場所：八東公民館
- ・ 議題 ①平成29年度事業の基本方針について
②その他